



東明

□令和2年3月19日発行

□男鹿市立男鹿東中学校

男鹿市船越字根木169番地

～ 卒業証書授与式 男鹿の未来を切り拓け ～

校長 木村守人

卒業証書授与式の校長式辞より（要旨）

柔らかな春の日差しを浴びた日本海と八郎湖、雪化粧を溶いた秀峰寒風山の麓、ここ船越根木の地も桜のつぼみが膨らみ始め、春の足音が一步一步近づいています。

本日、令和元年度男鹿東中学校の卒業証書授与式に当たり、特別の事情により多少の変更を余儀なくされましたが、多数の保護者の皆様のご臨席を賜りました。この上ない喜びであり、衷心より感謝申し上げます。

さて、第48期卒業96名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私たち教職員39名、在校生193名が常に夢に向かって笑顔で挑戦し続けた皆さんの卒業を心からお祝いいたします。

皆さんは、中学校生活3年間で本校の教えである校訓「英志つらぬけ」を具現し、「志高く学び、男鹿に貢献する」理想の中学生へと成長してきました。振り返ってみると、様々な場目が目に浮かんできます。

一つ、知性を磨きました。授業では明るく笑顔を絶やさず、互いに級友を尊重する姿は全校生徒の模範でした。学習の見通しをもち、課題解決のために共に学び合い、振り返ることによって学ぶ喜びを大いに実感しました。受験期に入ると最高学年らしく始業前や放課後を活用して、学習相談を笑顔で継続できたことが大きな自信となりました。全国学力・学習状況調査の結果も良好な成績でした。これらは、本校が目指す生徒像の具現であり、後輩への大きな贈り物となりました。

二つ、心を耕しました。運動会では「百花繚乱」のテーマの下、生徒一人一人が咲き誇る花のごとく輝き、絆のバトンを最後までつなぐことができました。特に運動会の色別対抗の迫力ある応援合戦や全員リレーなどは、皆が感動する出来栄であり、一生忘れることのない最高の思い出となることでしょう。

東中祭では「令和前線」のテーマを掲げ、新時代の幕開けを祝うとともに、全校生徒がワンチーム東中となり、全てのプログラムを成功に導きました。特に、全校生徒による秋田県民歌や合唱コンクールの美しく力強い響きは圧巻でした。各部門や演技では、一人一人が目映いばかりの輝きを放つとともに、お世話になった全ての方々におもてなしの心と感謝の気持ちを伝えました。会場は拍手喝采、感動の笑顔と涙に包まれました。「荘厳な秋田県民歌は特に感激した」「東中祭は生徒の熱気があふれ出し毎年感動する」などお褒めの言葉を多数いただきました。最上級生として、全校生徒の心をまとめ上げる皆さん

の統率力と支え導く人柄は別格でした。正にリーダーたる資質と能力の高さを感じました。

三つ、体を鍛えました。夏の総合体育大会では、体力と精神力を飛躍的に高めました。全ての部活動が接戦で、笑顔あり涙ありの感動する大会となりました。バレーボールと柔道の団体優勝を筆頭に、数々の好成績を手にして全県総合体育大会へは延べ64名が出場しました。保護者や地域の皆さんに応援されて、秋田県代表となった柔道と陸上競技は特筆すべき成績であり、東北大会でも活躍した実績は不朽の功績となることでしょう。正に不屈の心と鍛え抜かれた技、体力を披露し、地域に元気と勇気と感動を与えました。

吹奏楽コンクールでは、一糸乱れぬ優雅な演奏を披露し、応援に駆け付けた観客の皆さんに感動を与えました。県大会ゴールド金賞の演奏は見事でした。全員の充実した笑顔とうれし涙が忘れられません。心身ともに熱く燃えて青春する姿は最高に輝いていました。

四つ、ふるさと男鹿に貢献しました。生徒総会で男鹿に貢献する生徒会活動を高らかにうたい上げ、生徒会全体で公約を具現しようとする熱い思いと行動力に感激しました。

脇本地区の伝統行事「山車どんど」、船越地区の「東湖八坂神社例大祭」、払戸・若美地区の「日本海メロンマラソン」、市民運動会など総勢百名以上の自発的なボランティアを生み出しました。今年度は新たに有志を集いナマハゲのケデ作りにも挑戦しました。

また、全校生徒縦割り班による全員で成し遂げた「地域貢献活動」は、地域の方々に笑顔と感動を与えました。皆さんの優しさと思いやり、熱い心と実行力はかけがえのないものとして評価されていたのです。地域の伝統文化の伝承やふるさと男鹿に貢献したことに心から感謝しています。皆さんは、ふるさと男鹿を愛する、男鹿市が理想に掲げる中学生へと成長を遂げたのです。自信をもって上級学校へ進学してほしいと思います。（中略）

私たち教職員は、常に男鹿東部地域の子どもの幸せを願って「熱意と誠意と創意」をもって寄り添って指導と支援に当たってまいりました。少しでもお子様と保護者の皆様、そして地域の皆様の期待に応えられたなら光栄です。結びに、本日この学び舎を巣立つ卒業生に校歌の一節を贈ります。

♪若竹の健児は和して
問い 答え 考え 創る
若き夢 はばたく
ためらうな 英志つらぬけ♪



今、新たな夢に向かって笑顔で旅立つ第48期卒業生96名が、やがて世界へ羽ばたいたのち、生涯にわたって男鹿を愛し続け、ふるさと男鹿の未来を切り拓いてくれることを希望し、式辞といたします。